

樟彩

～ 岩田学園だより 2025年11月号 ～

～主体的で自走する学習者を目指す～

校長 安藤 英俊

目次	p
校長より	1
夏の対外模試講評	2
修学旅行 in シンガポール	3
第41期生徒会長選挙	4
あしなが学生募金	4
能楽の鑑賞・体験	5
部活動結果報告	5
保健室より	5
学校評価アンケート	6
卒業生に感謝	6

11月15日（土）の授業
参観・学校からの説明
会・懇談会にご参加し
てくださりありがとう
ございました。
欠席された方は、資料
をお子さまより受け
取ってください。

今年4月の就任以来、私は生徒に向けて主体性の大切さについて繰り返し語ってきました。夏休みには「主体的に、過ごす、サマー」、略して「SSS」、2学期始業日には「主体的取り組みで、集団で、成長する」、略して「新SSS」と、節目ごとにも主体性に関連したスローガンを提唱してきました。主体性は、昨今注目されている「非認知能力」の中でも特に重要な要素として位置付けられるものであり、これからの社会を生きていく上で必要不可欠な資質としてその育成が強く求められています。私は学校生活や日常生活の様々な場面において、生徒の主体性を涵養し育む機会を作りたいと考えており、それは自由で生徒の自主性を尊重する岩田の気風であれば十分可能であると考えています。実際にこれまで体育大会や学園祭などの行事や部活動や各種大会・コンクールへの参加や進路学習等の中で生徒の主体性が大いに発揮されてきました。

さて、学校では12月から新たな取り組みとして「学習状況シート」の利用を開始します。

これは、生徒1人1人の月ごとの学習や生活の実態をデータとして見える化して、それに基づいた分析と目標設定を生徒自身が行うものです。具体的には先日の保護者懇談会にて説明をしましたが、それには次の4つの目的があります。

- (1) 生活・学習支援システム「ヨリソル」を活用し、生徒の学習状況を見える化した上で、生徒・保護者・教員で学習等の実態を共有する。
- (2) 生徒の自己分析力・目標管理能力・実践力を伸ばし学習管理の習慣をつけさせる。
- (3) 「自走する学習者」の育成を通して生徒の主体性を伸ばす。
- (4) 個人データの把握を通して、個に応じたきめ細かい指導を実践する。

どれも大切なことですが、私は特に3番目の項目を強く意識しています。学習状況シートの活用を生徒の主体性の伸長と学力向上のためのツールとしていきたいと考えています。保護者の皆様にもご理解・ご協力いただくよう、よろしくお願いいたします。

～別府ライオンズクラブにて講演を行いました！～

11月6日に別府ライオンズクラブの会合にて講演を行いました。これは同クラブの会長の大隈氏が本校の卒業生（9回生）であることからいただいたお話しです。大隈会長以外にも親類が岩田の卒業生という方も複数いらっしゃいました。

「時代に合わせた学園としての新しい取り組み」と題した講演で、今日の教育を取り巻く環境と学校教育の動向、その中での岩田学園の取り組みを紹介しました。和やかな雰囲気の中で熱心に耳を傾けていただき、別府の方々に岩田学園をアピールするよい機会となりました。

また、本校のプロジェクト部のチームが参加をしている「模擬起業グランプリ『リアビズ』」の説明の中で、部員が作成した別府と湯布院の名所案内のカードの紹介をしたところ、多くの方に賛同いただきカードの販売にご協力いただきました。ここでも「岩田の絆」の強さと良さを実感しました。





～夏の対外模試講評～

進路主任 山下 光信

7月上旬に中3～高2が受験したベネッセ総合学力テストの成績結果と、高校3年生の近況などについてご報告いたします。

中学3年生(41回生)

初めて進研模試を受けた中3ですが、4月に受けたスタディーサポートから、7月進研模試にかけてGTZがアップした生徒が65%にあたる37名いました。維持した生徒含めると、全体の84%の生徒が学習到達度を向上または維持しています。

ご存知のように本校の中3は、一般の高1と同じ模試を1年早く前倒して受験しています。例年、中3と高1の同じ時期の模試を比べると、一年間で平均して1～2ほどゾーンのランクが上がります。このまま11月、1月、そして高1の7月進研模試に向けて41回生の今後の伸長が期待されます。

高校1年生(40回生)

次に高1ですが、中3の1月の結果と比べると、S～Aゾーンの割合が29%から46%に増加し、C～Dゾーンの割合が27%から19%に減少しており、全体として順調に学力を伸ばしてきました。夢ナビライブなどを通して「大学・進路」を意識し、学習に対する意識も高まってきています。これから生徒会活動や部活動などでも学校の中心となる立場です。学習面でも全校を引っ張っていくという自覚をもって、さらに学力を

向上させてくれるものと期待しています。
高校2年生(39回生)

続いて高2ですが、Sゾーンの割合が例年並みの11%、A3以上では38%でした。(最近5年間のA3以上の平均割合は40%)、B2以上では71%と過去回生と比べても高い値であり、B～Cゾーンにいる生徒の頑張りで学年全体の底上げが出来ると期待されます。少ない人数ではありますが、中心学年として体育大会や学園祭を成功に導いた団結力・実践力のある39回生です。3学期を高3(受験学年)0学期と位置付け、スタートダッシュを期待します。

高校3年生(38回生)

最後に高3ですが、共通テストまで2ヶ月を切りました。2021年度入試から「大学入学共通テスト」に名称が変わり、出題形式はセンター試験と変わらず、オールマークシート方式です。出題内容は、これまでの「知識・技能の確実な習得」に重きを置いた問題だけでなく、「思考力・判断力・表現力」についても出題され、対話文形式の出題による問題分量の増加と、読解力・情報処理能力が一層問われることとなりました。また、2025年度入試より新課程入試となり、共通テストにおいても「情報Ⅰ」の追加、「地歴公民」の科目名変更、「国語」の大問数+1、「数学」のⅡB→ⅡBCへの変更など

大きな違いがありますが、今年度は昨年度を踏襲する形で実施されることになりました。今後、数年はこの形で実施していくことが予想されます。そのような中、「受験は団体戦」を合い言葉に、早朝から夜遅くまで、受験勉強に取り組んでいます。明るく素直で、常に前向きな38回生ですから、残りの2ヶ月で、必ず夢をつかんでくれるものと期待しています。また、そのためにも、高3学年団とともに、進路指導部も全力でサポートしていきたいと考えています。以上模試などの結果報告でした。11月上旬にはベネッセの第2回学力推移調査(中1、2)や、12月には11月総合学力テスト(中3～高2)の結果が出ます。また、中1から高2は来年1月にも模試が予定されています。「模試は受けるだけ」「成績は見て一喜一憂するだけ」では模試を受ける甲斐がありません。進研模試デジタルサービスでWEB解説を見ることが出来ます。早い内にやり直しと復習をすることが成績向上の第一歩です。そして、模試の個人成績が返却される際には順位や点数、志望校の判定も気になるでしょうが、分野別の出来不出来に注目し、次の模試では、今回取れなかった分野で結果を出せるように取り組んでいくことも学力向上をもたらしてくれる最良の方法の一つです。是非実戦して下さい。

GTZ (学力)	学力リサーチ正解率				進研模試 偏差値の 目安	各ゾーンの目安となるレベル・大学群			
	国数英 βββ	国語β	数学β	英語β		国公立大		私立大	
S 1	84.3～	90.0～	90.0～	97.0～	78.0～	S 1	東大・医学部医学科合格レベル	東京・一橋・京都	－
	2	81.0～	87.0～	83.0～	94.0～	2	難関大合格レベル	東京工業・大阪・国際教養	慶応・国際基督教・上智・早稲田
	3	77.7～	83.0～	77.0～	90.0～	3	難関大合格レベル	東北・東京外・名古屋・神戸・九州	青山学院・中央・明治・立教・同志社
A 1	73.7～	80.0～	73.0～	85.0～	65.0～	A 1	難関大挑戦レベル	北海道・筑波・千葉・横浜国立・大阪公立	法政・立命館・関西・関西学院・立命館アジ
	2	70.0～	76.0～	67.0～	79.0～	2	国公立・中堅私立大合格レベル	岡山・広島・九州工・熊本・福岡女子	駒澤・専修・明治学院・関西外・西南学院
	3	63.3～	69.0～	60.0～	71.0～	3	国公立・中堅私立大合格レベル	福岡教育・長崎・鹿児島・北九州市立	順天堂・東洋・日本・近畿・福岡
B 1	58.3～	62.0～	53.0～	63.0～	54.0～	B 1	国公立・中堅私立大挑戦レベル	佐賀・大分・宮崎・琉球・福岡県立	帝京・東海・中村学園
	2	51.3～	55.0～	44.0～	56.0～	2	国公立・中堅私立大挑戦レベル	長岡造形・名桜・沖縄県立芸	久留米・福岡工・福岡国際医福・熊本保健科
	3	47.3～	51.0～	41.0～	49.0～	3	4年制大挑戦レベル	－	九州産・純真学園・熊本学園・崇城
C 1	41.3～	46.0～	34.0～	44.0～	43.0～	C 1	4年制大挑戦レベル	－	九州共立・九州国際・西九州・鹿児島国際
	2	36.0～	40.0～	26.0～	39.0～	2	4年制大挑戦レベル	－	久留米工・日本経・西日本工・九州情報
	3	32.7～	34.0～	20.0～	32.0～	3	実力養成レベル	－	－
D 1	28.7～	29.0～	13.0～	25.0～	37.0～	D 1	基礎力養成レベル	－	－
	2	23.0～	23.0～	7.0～	22.0～	2	基礎力養成レベル	※国私とも合格可能性60％の目安。	－
	3	0.0～	0.0～	0.0～	0.0～	3	基礎・基本養成レベル	※貴校の地域で志望者が多い大学を掲載。	－

～岩田高校(IWATAコース)修学旅行

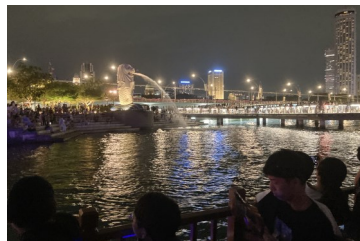
in シンガポール～

～高校2年生(39回生)～

高2学年主任 立川 英季

本校IWATAコースの修学旅行は長らく高1の学年行事でしたが、コロナの影響による延期や諸経費の高騰に伴う行き先変更など、以前とは異なる形が続いていました。今年度は高2と高1が連続して実施することで、本来の時期に戻すことができました(なので旅程は高1とほぼ同じです)。10月19日(日)の朝5時に体育館に集合しましたが、久しぶりに一人の遅刻者もなく、また忘れ物もなく無事に出発できたのは、保護者の皆様の「御努力の賜物」と理解しています。福岡空港からチャンギ空港までは約5時間。生徒の中には旅慣れた者も多く、手続き等の際には教員が教えられる場面も多く有りました。到着後は現地ガイドの案内に従って有名観光地を巡りましたが、個人的にはもう少しシンガポールの歴史について知っておけばよかったと思いました。食事はどれも十分な量とメニューが準備されており、全体的に満足できましたが、味付けについては個人差があるかもしれません。出発前の天気予報は「全て雨」

とのことでしたが、何のご利益か、傘は一度も使わずに済みました。体調不良者も出ましたが大事には至らず、むしろ現地の病院(ジャパニーズクリニック)を受診するという貴重な体験もできました。高2は昨年度(民間宿泊施設での)宿泊訓練を実施し、部屋の使い方や時間管理など「自分のことは自分(たち)でやる」ことを意識させてきました。あと1年と少しで親元を離れて一人暮らしを始めることになりますが、不安や寂しさに負けず、自分を励ましながらか、自分(だけ)の生活を組み立てていく経験となってくれば…と思っていました。文字通り手探りで始まった学園祭を見事に成功させた39回生の「個々の成長」を感じられた5日間でした。この行事のために、さまざまな面で、また足掛け4年にわたりご支援・ご協力いただいた保護者の皆様には、改めて心より感謝申し上げます。何よりも無事に実施できたことに安堵しております。ありがとうございました。



～高校1年生(40回生)～

高1学年主任 廣田 奈緒子

高1は10月26日から30日の日程で修学旅行に行ってきました。出発当日は体育館に朝4時45分に集合、バスで5時15分に学校を出発し、福岡空港から9時45分発のシンガポール航空の旅客機で目的地のシンガポールへと飛び立ちました。シンガポールのチャンギ空港には5時間ほどで到着し、まずはショッピングモールのジュエルを見学しました。屋内のものとしては世界最大級の、天井から地下まで流れ落ちる水柱は圧巻でした。その後、シンガポール名物マライオン公園を散策して、夕食へ。レストランではスチームボートというマレーシア名物の鍋料理をみんなで囲みました。2日目は国境を越えてマレーシアへ入国し、ジョホールバルにあるマレーシア文化村にて現地の伝統工芸やダンスを楽しみ、マレーシアの伝統文化に触れました。昼食には少しスパイシーなマレー料理を食べました。午後は再びシンガポールに戻ってシリコンバレー・オブ・シンガポールを見学し、現地スタートアップ企業との意見交換会などを行いました。シングリッシュの聞き取りに苦戦しましたが、生徒たちは必死に耳を傾けていました。夕食の広東料理を食べた後は、夜景観賞のリバークルーズです。船上からライトアップされたマライオンやマリナーベイサンズは、昼とはまた全く別の雰囲気、素晴らしい夜景に感動しました。3日目は班行動の日で、9時から14時までは現地大学生の案内で市内各地を巡るB&Sプログラムの研修を行い、14時から18時まではホテル近くのオーチャード通り周辺を散策しました。夕食はホテルの豪華バイキングを食べました。夕食後はホテル内で、日中の活動で疲れて部屋で休む者、ホテルのプールで泳ぐ

者、ホテルに隣接するスーパーマーケットで買い物する者など、様々に楽しんでいました。現地での最終日は、リゾート地のセントーサ島で希望する3つのコース(USSコース・アトラクションコース)に分かれて活動し、夜はナイトサファリに大興奮でした。その後チャンギ空港に移動し、出国手続きを済ませた後に最後の買い物等を楽しみ、深夜1時20分発の旅客機でシンガポールを後に…する予定でしたが、天候の関係で約2時間遅れの出発となり、深夜の飛行機の中での足止めとなりましたが、福岡空港には予定より遅れて翌朝10時頃に無事到着、税関審査などを済ませた後バスに乗り込み、14時00分頃学校に帰着しました。

40回生は小学校修学旅行もコロナ禍で、もしかすると学校生活で初めての宿泊研修だった生徒も多くいたかもしれません。そのため集団行動や時間を守ることの大切さなど、学ぶこともたくさんありました。修学旅行直前に体調をこわす生徒が多く、また準備や現地での出入国審査等いろいろと大変なこともありました。が、何よりも生徒がおもいきり楽しんでくれたこと、40回生の絆をさらに深めることができたこと、そして一人も欠けることなく全員で修学旅行に行けたことが、学年としてなにより喜びでした。高1保護者の方々におかれましては、出発前の準備、出発日の早朝のお見送り、帰着日のお迎え等、大変ご負担をおかけしたと存じます。多くの面でサポートしていただき、この場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



～第41期生徒会長選挙～

生徒会担当 草本 舜輔

11月13日(木)7限目、第41期生徒会長選挙が実施されました。今年は平川晃生さん、伊勢戸悠司さんの2名が立候補し、約2週間の選挙戦を戦いました。立会演説会は体育館にて行われ、各候補者はそれぞれの公約を掲げ、個性や人柄の分かる演説を見せてくれました。投票の結果、第41期生徒会長には伊勢戸悠司さんが選ばれました。

以下は伊勢戸悠司さんの新任挨拶です。

「みなさん、こんにちは。このたび生徒会長に就任しました伊勢戸悠司です。まずは、僕に投票し、期待してくれたみなさんに心から感謝します。そして、応援してくれた人も、そうでない人もこれからは同じ学校を作る仲間です。全員の声に応える生徒会を必ず作ります。僕が生徒会長として大切にするのはみんなが通いやすく、楽しくなれる学校です。そのための覚悟はあります。これからみんなで学校を作っていきます。一年間よろしくお願いします。」



4年3組 伊勢戸悠司さん

～あしなが学生募金～

特活主任 宮川 修一

10月25日(土)、中1～高2の生徒30名が、大分駅北口・南口およびSMBC日興証券前にて「あしなが学生募金」に参加しました。この募金活動は、病気や災害、事故などで親を亡くした子どもたちを支援するために、全国の学生たちが街頭に立ち、募金を呼びかける取り組みです。

今回は、高校2年生IWATAコースの修学旅行直後、高校1年生IWATAコースの修学旅行出発前日という日程の重なりもあり、例年より参加人数は少なくなりましたが、それでも30名の生徒が参加し、精一杯活動しました。

当日は「おおいた夢色音楽祭」が開催されており、大分駅周辺は素敵な音楽演奏に包まれていました。そんな華やかな雰囲気の中、生徒たちは元気な声で募金を呼びかけ、通行人の方々から温かいご支援をいただきました。

また、応援や募金に駆けつけてくださった先生方や保護者の皆さま、そして活動を支えてくださった大学生の皆さまにも、心より感謝申し上げます。皆さまのご協力が、生徒たちの励みとなりました。

この「あしなが学生募金」は、全校生徒にBLENDを通じて参加を呼びかけており、希望すれば誰でも参加することが可能です。募金活動は12時から18時まで行われており、最低2時間からの参加が可能です。

今回の募金活動は来年の春に予定されています。今回参加できなかった生徒も、ぜひ次回はこの意義ある活動に参加してみてください。多くの生徒の積極的な参加を期待しています。

以下に、参加した生徒の感想を一部ご紹介します。

★私は、今回2回目のあしなが募金に参加しました。私は、前回やった時は緊張してあまり大きい声を出す事ができませんでした。でも2回目は声が出でとても嬉しかったです。そして、一緒にやっていた友達も大きい声を出してとても頑張っていたと思いました。そして、募金をして下さった方から「頑張ってるね」とか応援の言葉を貰いすごく嬉しかったです。次回もあしなが募金があったら参加したいと思います。

★私たちのような少ない人数でも募金を呼び掛ければ、多くの人がたくさん募金をしてくれたことに驚きました！また募金活動中に話しかけられることもあって「自分が今ボランティアをしているんだ！」という実感がもてとても楽しかったし、うれしかったです。私はこの経験を通して、募金活動やその他のボランティア活動にも「これからは参加しよう！」という思

い、さらにそれらの活動に協力していきたいなとも思いました。この活動に参加できて「本当に！」よかったです。ありがとうございました！

★あしなが募金活動をしているときに、いつもきつuitと感じますが、募金を入れてくれる人がたくさんいたり、頑張ってるねと応援してくれる人などがいるため、絶対最後には嬉しいという気持ちになります。そして、自分たちがしている募金によって助けられる人達がたくさんいるということも大事にして、次も参加したいと思いました。

★私は、今回初めてあしなが募金に参加しました。街頭で声を出して募金を呼びかけるのは思ったよりも勇気が入りましたが、多くの人が笑顔で協力してくださり、とても温かい気持ちになりました。中には立ち止まって「頑張ってるね」と声をかけてくださる方もいて、人の優しさを直接感じることができました。今回の経験を通して、「募金」はお金を集めるだけでなく、人と人をつなぐ活動なのだと気づきました。これからもこうした活動に積極的に参加していきたいです。

★今回の募金活動に参加して主にビラ配りを行ったのですが、とても楽しい経験でした。ビラを配っている際に、受け取ってくれた方々から「募金してみようと思います」や「頑張ってください」という言葉をいただき、心が温かくなり、大きな元気をもらえました。こうした経験を通して、人々との触れ合いの中で募金活動の大切さを感じ、とても貴重な経験となりました。次回の募金活動にも、ぜひ参加したいと思います。

★私は今まであしなが募金は多くの人に募金してもらうために大きな声でただ募金箱にある文章を読んで呼びかけていただけでした。ですが今日出会った大学生は『心に訴えかける募金活動をしたい』とおっしゃっていて、自身の親を亡くした過去の経験をもとに多くの人にあしなが募金というものを届けようとしているのがすごく伝わりました。私も今までと違って通行人の方1人ひとりの目を見て、相手の心を動かすことを意識して募金活動を行いました。より多くの人にあしなが募金という存在を知ってもらえた気がするし、頑張ってるねとあたたかい言葉をかけてくれる方もいて、もっと頑張ろうと思えました。何度かあしなが募金に参加したことはありましたが、1番有意義な時間を過ごせた気がします。

～「能楽が学校にやってきた！」～

特活主任 宮川 修一

10月22日(水)～24日(金)に文化庁の「学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業」の一環として、一流能楽師による能の鑑賞・体験授業を中学1年生から3年生で実施しました。本事業では、観世流能楽師の馬野正基師・山中雅志師をお迎えし、能の魅力を実演・体験を通して中学生に伝えて頂きました。ご両名は今年のお正月「芸能人格付けチェック」の能楽部門に『一流能楽師』として出演されたレベルの有名な方です。体験コーナーでは、能面をつけて歩いたり、楽器の演奏を行ったりしました。各学年より代表の生徒数名に体験してもらいましたが、

「やってみたい」と挑戦する姿が見られ、実際に体験する中でその難しさと奥深さを感じ取っている様子でした。また普段とは違う姿に変わる楽しさや、互いの姿を見て楽しむ様子も見られました。楽器体験では実際に楽器に触れた生徒が細かなパーツにまで興味を持ち、話を聞く様子も見られました。

今回は舞台との距離が非常に近く、最後の鑑賞「高砂」においては迫力ある演技に会場全体が緊張感に包まれ、真剣な表情で舞台を見つめ、伝統芸能の魅力に触れる貴重な時間となりました。



～部活動等結果報告～

バスケ部(中学女子)

11/2(日) 第6回USUKI石仏カップ(A・Bパートに3チームずつ分かれ、その後それぞれの同順位チーム同士で順位決定戦。前半7分を2本、後半7分を1本の変則試合。)

第1試合 岩田 31-28 臼杵北(延長戦)

第2試合 岩田 4-46 日田三隈

順位決定戦 岩田 12-42 中津緑ヶ丘

第1試合は途中までリードしながらも最終クォーターで追いつかれ、3分間の延長戦へ。それでも、ディフェンスへの意識、オフenseでのシュート選択のタイミングなどをみんなで確認し、3点差で勝利。新チームになっての初勝利でした。

その後行われた第2試合、そしてAパート2位で通過した順位決定戦では、現時点での力の差を相手校に見せつけられ完敗しましたが、中体連後から今まで練習してきたものが少しずつ試合で出せるようになってきたと思います。チームとして個人として良い経験になりました。

朝早くからの夕方まで、多くの保護者の皆様のサポート・応援に感謝いたします。ありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。(顧問:辰口 裕一朗)

高校卓球部

11/8(土) 大分県高等学校新人大会 卓球競技 シングル

1年 藤谷 1回戦敗退(1-3)

1セットはなんとか取りましたが、相手が攻撃タイプで守勢に回ると不利になり、全体的にうまく攻撃に転じることができませんでした。(顧問:後藤 慎太郎)

バスケ部(高校男子)

11/9(日) 2025年度 U-18 OBAリーグ戦

1日目 岩田 68 - 55 大分鶴崎

6チーム総当たりのリーグ戦の初戦。DFから走るという意識を持ち続け、速攻で点数をとることに成功。オフenseでもディフェンスでもミスをすぐに取り返す・修正しようとしたので、相手に流れをわたすことがほぼありませんでした。ベンチメンバー全員が試合に出場でき、経験を積めたことはチームとして大きなプラスとなりました。次戦は12月。さらにレベルを上げて試合に臨みます。保護者の方々のサポート・応援に感謝いたします。

(顧問:野田 大樹)

～保健室より～

養護教諭 野村 めぐみ

11月保健室利用状況

	内科	外科	その他
1年	36	11	2
2年	25	9	8
3年	16	5	6
4年	18	5	7
5年	46	11	50
6年	9	9	24

○インフルエンザAの大流行により、各学年、体調不良者が急増しました。

○寒くなり、体育で怪我をする人が多くなりました。

○インフルエンザ予防接種:11/27(木)に実施

○まだまだ、インフルエンザや風邪が流行しています。手洗い・うがい・マスクの着用を強化してください。

○世界エイズデーへ向け4年・5年の保健委員さんがレッドリボン作成に取り組みました。



学校評価アンケート(保護者対象)の実施について

教頭 中川 真司

教育活動をより一層充実させるため、本校では毎年、行事や学期の節目に生徒や保護者の皆様を対象としたアンケートを実施しております。アンケートは、目的や内容に応じて「記名方式」と「無記名方式」の2つを使い分けています。

具体的には、生徒対象の『授業評価アンケート』は無記名方式を採用し、一方で、保護者の皆様を対象とした『学校評価アンケート』については、記名方式と無記名方式を3年に1回の割合で切り替え、記名方式：無記名方式を2：1の比率で実施して

おります。本年度は記名方式での実施となります。

いただいた評価やご意見は、今後の教育活動の改善・向上に役立ててまいります。ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、アンケートへのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

配信は11月30日(日)、
回答期限は12月13日(土)です。

～卒業生、ありがとうございます！～

総務主任 堀 寿瑞代

本校では卒業生が在校生のために多くの支援を頂いております。2学期はたくさんの研修や講演を行って頂きました。

★9月10日(水)7限 中3対象

「キャリア探究ツアー(県南)へ向け、造船技術事前研修」
26回生 三浦孝洋さん

★10月1日(水)5限 高1・高2対象

「修学旅行に向け、スタートアップ企業事前研修」
13回生 平尾彰浩さん 14回生 岩崎友樹さん

★10月10日(金) 中3対象

「キャリア探究ツアー(県南)」
三浦造船所 進水式参列 26回生 三浦孝洋さん
山田水産 第2工場見学 うなぎ試食 4回生 山田信太郎さん

★11月10日(月)7限 高1対象

「県庁のシゴト」講演会
16回生 伊藤友仁さん 26回生 谷星斗さん

★11月18日(火)7限 中1対象

「卒業生によるバトンリレー ～君たちはどう生きるか～」
参加者全員Teams会議に参加してオンライン講演会
19回生 藤沢尚慶さん



◇厳かな式典、大きな船に感激しました。



◇山田社長の鰻にかける熱い思いに触れることができました。



◇みんな真剣に自分の夢について考えました。

その他のお知らせ

*レモネードスタンド活動へのご協力 ありがとうございました。

学園祭にて実施した「レモネードスタンド活動」では、各クラスのボランティア委員さんと有志の生徒たちが力を合わせ、心のこもった取り組みを行いました。

皆さまの温かいご支援のおかげで、**売上金 25,345円**を「キャンサーネットジャパン」様へ寄付することができました。

この活動は、がん患者さんやそのご家族を支援するための大切な一歩です。レモネードを購入してくださった生徒の皆さん、保護者の方々、そして教職員の皆さまに心より感謝申し上げます。また、準備や販売に尽力してくれた生徒たちの笑顔と頑張り、この活動をより意義深いものにしてくれました。

皆さまのご協力により、学園祭が「楽しさ」と「思いやり」にあふれる場となりました。今後もこうした活動を通じて、社会に貢献できる学びを広げていきます。

12月の行事予定

12/1(月)～12/4(木) 期末考査
12/4(木) 巣立ち教育(高3)
12/5(金) 独占禁止法教室(中3・高2)
12/8(月) 進路講演会(高1)
12/9(火) 中2・中3クラスマッチ
12/10(水) 答案返却
12/11(木) 高1・高2クラスマッチ
12/12(金) 中1クラスマッチ
12/15(月) 職員会議
12/23(火) 終業式 寮生帰省
12/24(水) 職員会議
12/25(木) 入試準備
12/27(土)～1/6(土) 閉校日

* 学園祭DVD/BDの購入申し込みは、11/30配信のBlendアンケートにて承ります。
購入を希望される方は、**12/12(金) まで**にお申し込みください。



Instagram



学校法人 岩田学園

岩田中学校・高等学校

Festina
lente ゆっくり急げ



〒870-0936

大分市岩田町1-1-1
学校法人岩田学園

電話 097(558)3007

Fax 097(556)8937

Email iwata@iwata.ed.jp

HP <https://www.iwata.ed.jp>